

## NetWyvern RADIUS SmartCS シリーズ接続設定例

エスアイアイ・ネットワーク・システムズ株式会社

本資料は、株式会社インフィニコ製 NetWyvernRADIUS につきまして、弊社製品コンソールサーバ SmartCS シリーズを RADIUS 認証クライアントとして利用する場合の設定の補助資料です。

NetWyvern の設定の詳細につきましては製品添付のマニュアルをご確認ください。SmartCS シリーズの設定の詳細につきましても「取扱説明書」、「コマンドリファレンス」をご確認ください。

### ■ RADIUS 認証/アカウントサーバについて

製品名	NetWyvern RADIUS
メーカー	株式会社インフィニコ
確認済みソフトウェアバージョン	1.23.6 (ビルド番号 : 5562)
設定方法	WEB
AUTH ポート	1812 (変更可)
ACCT ポート	1813 (変更可)

## ■ RADIUS サーバ設定

- 「RADIUS 設定」タブの「基本情報」で設定します。
- RADIUS 認証/を行う待ち受けポート番号を SmartCS シリーズの RADIUS サーバ設定と一致させてください。アカウントサーバの待ち受けポート番号は認証待ち受けポート番号に 1 を足したポート番号が自動的に設定されます。SmartCS シリーズのデフォルトの設定値は「1812/1813」です。
- NetWyvern の認証方式はデフォルト設定で「PAP/CHAP」ですので設定の必要はありません。また、SmartCS シリーズは EAP 認証に対応していません（2009/10/19 現在）

The screenshot shows the 'RADIUS 設定' (RADIUS Settings) page in the NetWyvern interface. The '基本設定' (Basic Settings) tab is selected. The 'RADIUSサーバ設定' (RADIUS Server Settings) section contains the following fields:

待ち受けポート番号	1812
応答最大秒数 (5~120)	30
不正パスワードロギング	<input checked="" type="checkbox"/> 正しくないパスワードが使用された時、そのパスワードを記録する

Buttons for '設定' (Apply) and 'リセット' (Reset) are located below the table.

## ■ RADIUS 認証クライアントの設定

- 「RADIUS 設定」タブの「クライアント」で設定します。
- SmartCS シリーズの「IP アドレス（例では 10.5.31.230）」、RADIUS 認証サーバと共通の「共有鍵（例では network）」を設定します。

The screenshot shows the 'RADIUS 設定' (RADIUS Settings) page in the NetWyvern interface. The 'クライアント' (Client) tab is selected. The 'RADIUSクライアント (AP、認証VLAN-SW) 編集' (Edit RADIUS Client) section contains the following fields:

IPアドレス	10.5.31.230
共有鍵	network
Short Name	SmartCS
コメント	

Buttons for '設定' (Apply), 'リセット' (Reset), and '削除' (Delete) are located below the table.

## ■ ユーザの登録方法

### ➤ 認証ユーザの登録方法

- ◇ 認証ユーザは「ユーザ管理」タブの「ユーザ管理」で設定します。
- ◇ ユーザ ID、パスワード、グループを設定します。グループの設定は「グループ管理」でグループを作成した後にを行います。

NetWyvern RADIUS Infinico Corporation

ユーザ管理 | RADIUS設定 | プライベート認証局 | ログ | 装置設定 | ツール

ユーザ管理 | グループ管理 | 一括登録

### ユーザ編集

ユーザ	portuser1												
パスワード	network												
グループ	portuser												
一時停止	<input type="checkbox"/> 一時停止とする												
証明書	有効期限: 2019/03/31 [S/N:01] 失効 ダウンロード: <input type="button" value="クライアント証明書のみ"/> <input type="button" value="クライアント証明書+CA証明書"/> 以下の有効期限で <input type="button" value="証明書を作成"/> 新しい有効期限: 2019 年 3 月 31 日												
ユーザ固有アトリビュート	<table border="1"><tr><td>▼</td><td>=</td><td></td></tr><tr><td>▼</td><td>=</td><td></td></tr><tr><td>▼</td><td>=</td><td></td></tr><tr><td>▼</td><td>=</td><td></td></tr></table>	▼	=		▼	=		▼	=		▼	=	
▼	=												
▼	=												
▼	=												
▼	=												
コメント													

### ➤ グループの作成

- ◇ グループは「ユーザ管理」タブの「グループ管理」で設定します。
- ◇ 認証成功時に、NetWyvern RADIUS から SmartCS シリーズに送付されるアトリビュートを設定します。SmartCS シリーズのアクセスグループピング機能や filter\_id\_head 機能を利用する場合には、Filter-Id アトリビュートの設定が必要です。アトリビュート設定はユーザ個別でも設定が可能ですが、ここではユーザをグループごとに管理し、グループごとにアトリビュートの設定を行います。
- ◇ 例えば、filter\_id\_head 機能を利用する場合に、SmartCS シリーズのポートユーザ「portuser」というグループを作成します。ユーザグループを認識するための filter\_id\_head を「NS2240\_PORT」、アクセス可能な tty を 1 番ポートから 4 番ポートまでとグループ分けする場合は、NetWyvern には下図のように「NS2240\_PORT1-4」と設定します。SmartCS シリーズの設定でアトリビュートの Filter-Id の値を「NS2240\_PORT」と設定します。

グループ編集

グループ名	portuser
一時停止化	<input type="checkbox"/> 一時停止とする
アクセスAP制限	<input checked="" type="radio"/> 制限しない <input type="radio"/> アクセスを許すAP、認証SWを指定する 設定済みAP、認証SWのリスト <a href="#">全て選択</a> <a href="#">選択を反転する</a> <input type="checkbox"/> SmartCS143 <input checked="" type="checkbox"/> SmartCS
グループ固有アトリビュート	Filter-Id(1) = NS2240_PORT1-4 = = = =
コメント	

■ 設定の反映

- 各項目の「設定」アイコンをクリックすると即時反映されます。

■ 補足

- 認証ログは「ログ」タブの「認証ログ」で確認します。
- アカウントログは「ログ」タブの「アカウントログ」で確認します。

以上